

メーリングリスト [choshu2] における議論

No.	月/日	発信者	頁	内容
79	5/1	事務局（千馬）	1	【ご意見募集】 南海トラフ評価文案（本文のみ） 第 277 回長期評価部会・第 98 回海溝型分科会（第二期）・第 9 回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会
80	5/1	加納委員	1-2	Re: [chouki(2800)] 【ご意見募集】 南海トラフ評価文案（本文のみ） 第 277 回長期評価部会・第 98 回海溝型分科会（第二期）・第 9 回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会
83	5/7	事務局（千馬）	2	会議後修正資料共有：第 277 回長期評価部会・第 98 回海溝型分科会（第二期）・第 9 回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会（5 月 1 日（木） 10 時 00 分～ 12 時 30 分）

[choshu2(79)] 【ご意見募集】 南海トラフ評価文案（本文のみ） 第 277 回長期評価部会・第 98 回海溝型分科会（第二期）・第 9 回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会  
 発信者：事務局（千馬）

長期評価部会・海溝型分科会・長期確率評価手法検討分科会 委員の皆さま  
 平田委員長

お世話になっております。文部科学省地震火山防災研究課 千馬です。

本日の長期評価部会・海溝型分科会（第二期）・長期確率評価手法検討分科会（第二期）の合同会へのご出席ありがとうございました。

本日の議題 3 海溝型地震の長期評価についてご紹介させていただきました、  
 ・参考資料 4-1 南海トラフの地震活動の長期評価（第二版 一部改訂）主文のみ  
 ・参考資料 4-2 南海トラフの地震活動の長期評価（第二版）の一部改訂案（前回との差分）  
 についてですが、同合同会にてご説明したとおり、ML でも意見を募集したいと考えております。

なお、今後表現については細かい修正が入る可能性が高いです。  
 ですので、今回は文章の構成・方向性や追加・削除したほうが良い図などの大枠部分についてご意見をいただけたら幸いです。

細かい誤字脱字などは、本文が完成したのちにもう一度諮らせていただければと思います。

にあります、  
 ・長 277 海Ⅱ98 長手Ⅱ9 参考資料 4-1\_南海トラフの地震活動の長期評価（第二版 一部改訂）主文のみ.pdf  
 ・長 277 海Ⅱ98 長手Ⅱ9 参考資料 4-2\_南海トラフの地震活動の長期評価（第二版）の一部改訂案（前回との差分）.pdf をご覧ください。

ご多忙のところ恐縮ですが、よろしくお願いいたします。

[choshu2(80)] Re: [chouki(2800)] 【機密性 2 情報】【ご意見募集】 南海トラフ評価文案（本文のみ） 第 277 回長期評価部会・第 98 回海溝型分科会（第二期）・第 9 回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会

発信者：加納委員

千馬さま、部会・分科会の皆さま

加納です。

大枠部分とはいえないかもしれませんが、主文の2ページ下から4行目（スライド2枚目）の

今回は、従来の地震時の地殻変動の観測値を用いた時間予測モデルから、その観測値に幅があること（不確実性があること）と観測誤差があることを考慮しての「地殻変動の観測値」は違和感があります。

- ・史料からの情報は（現代的な）「観測」「観測値」とは意味合いが異なる
  - ・実質的には（室津の）隆起量だけ
- と考えるからです。

これまでの資料のことばだと、「隆起量データ」が対応すると思います。

第二版では「室津港（高知県）の隆起量」や、「地殻変動のデータ（室戸半島先端の室津港の潮位観測データ）」などとなっています。

文言については今後修正があると思うのですが、案としては

今回は、従来の地震時の室津港（高知県）の隆起量を用いた時間予測モデルから、その隆起量の推定値や観測値に幅があること（不確実性があること）と誤差があることを考慮してなどとするのはどうでしょうか。

---

[choshu2(83)] 会議後修正資料共有：第277回長期評価部会・第98回海溝型分科会（第二期）・第9回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会（5月1日（木）10時00分～12時30分）

発信者：事務局（千馬）

長期評価部会・海溝型分科会・長期確率評価手法検討分科会 委員の皆さま  
平田委員長

お世話になっております。文部科学省地震火山防災研究課 千馬です。

先日の合同会でのご審議ありがとうございました。  
誤字の個所や肩書など修正した修正版の資料を送らせていただきます。

[修正点]

- 参考資料4-3 P3 Jeffrey's prior => Jeffreys prior
- 旧 p8 - 10（現 p8-10）ヒストグラムの修正及び年の修正（以前はすべて2035年になっていた）
- 旧 p12 の後に、BPT-JP の 95, 70%の信用区間のスライドを追加
- 旧 p18 - 19 及び箱ひげ図のスライドを現 p13 の後ろに移動&追加
- 参考資料4-4 p.5 確率の幅の②70%信用区間の記述と図の70%区間を修正
- 参考資料5-1 飯沼委員の肩書修正

よろしくお願いします。

以 上